

# 「三重県総合教育センター メール通信」

第5号（平成28年3月15日発行）

## 特集 次年度の学校改善につなげるために



年度末をむかえ、それぞれの学校では、次年度の教育活動や学校運営の方向性、具体的方策について検討されている頃かと思えます。

本年度、12月1日（火）と1月25日（月）に、先進的に学校改善活動（学校マネジメント）を進めている学校の実践取組に学び、意見交流をとおして自らの学校の組織的な改善活動につなげることを目的として、学校マネジメント実践事例交流会を実施しました。

各学校での次年度の学校改善に役立てていただくため、そこで発表された主な取組を紹介します。

### 【県立菰野高等学校】 学力向上に向けた取組について

「教室環境の改善」「教職員の授業改善」を重点課題とした取組の中、学力向上委員会が取組の進捗管理や学力の現状把握等を行い、全職員へ働きかけることによって、教職員一人ひとりが当事者意識を持つようになり、多様な改善策が出された。他の校内委員会と連携しながら、校内全体での改善活動が進められている。

### 【県立緑ヶ丘特別支援学校】 病弱特別支援学校の再編・拡充に向けた取組について

「三重県立子ども心身発達医療センター（仮称）及び併設特別支援学校」の整備計画に基づいた再編・拡充に向けて、さまざまな関係機関との連携が必要となってくる。そのため、再編にかかるビジョンの構築と共有が重要であるととらえ、学校長が再編整備後のイメージ等を示すことによって、ビジョンの共有が図られた。

### 【伊賀市立柘植小学校】 社会をたくましく生き抜く足場づくりの教育 ～読み・書き・算術、ボケとツッコミ、〇〇名人～

人権、学力、キャリア教育を柱にして、教職員一人ひとりのアイデアを活かした文化的・生産的な教育活動が次々に仕掛けられている。地域力という強みをフル活用した本物との出会いや体験活動、粘り強い学力定着の取組等により、子どもたちがいきいきとつながる姿が見られるようになってきている。

### 【四日市市立内部中学校】 志を大切にしたい学校づくり ～すぐに役立つホット研修～

生徒の「志」教育を推進するため、教師も夢や志が語れる学校づくりを目指して、「すぐに役立つホット研修（OJT）」を実施している。また、「教育活動改善シート」を活用し、学校長が教職員一人ひとりの志を大切にすることにより、教職員のアイデアによる教育活動の改善が進められている。

紹介した学校の取組には、次のような私たちが学ぶべきポイントがあります。

- 管理職がビジョンを具体的に提示し、教職員全員で共有している。
- 目指す学校像実現に向け、自校の現状（強み、弱み）から、取組を焦点化している。
- 教職員が一丸となり、主体的に改善活動を進めている。

各学校での次年度の改善活動につなげられるよう、今一度、これらのポイントから自校の取組を振り返ってみてください。

# 本年度の研修を振り返って



本年度の研修講座を振り返り、その一部を紹介します。今後の研修講座への受講にぜひ参考にしてください。

## 〈基本研修〉

### ◆授業実践研修 ～授業力の向上をめざして～

今年度も、授業力の向上をめざし、初任研、6年研、11年研の先生方が、校種別教科別の研修班単位で授業研究を進めてきました。重点的な取組として、研修班のテーマに沿った授業研究を行うこと、授業においてめあての提示と振り返りの活動を取り入れることを行ってきました。

公開授業や実践報告をもとに協議を重ねる中で、課題を明らかにし、具体的な改善策を考えます。経験年数の違う方や異校種の方の意見から、新たな気づきを得て、継続的に授業改善に取り組むことが、必ず子どもたちの学力の向上につながっていくと考えています。

#### ●●●受講者の声●●●

- ・初任者として、6年研、11年研の先生方の授業を見せていただけた事は、とても有難いことでした。また、その授業をもとに授業検討を重ねることができ、授業に対する考え、視点を深めることができたので、貴重な経験になりました。
- ・初任研・6年研・11年研と一緒に意見を出し合い、お互いの悩みを共有できて、とてもいい機会になりました。初任の頃から少しずつだと思いますが、成長したことを実感しました。メンバーも楽しく、集まるのが楽しみでした。
- ・他の校種・先生方の授業や指導法・題材と出会う事ができ、この研修に参加できて本当によかったと感じています。ここで学んだことを、現場でどんどん実践していきたいと思えます。
- ・同じ教科だから分かることや悩みを共有し、解決策をみんなで考えていくことは非常に楽しかったです。いろいろな先生方の実践や学校独自の取組を知ることができ、自分自身の実践に役立てることができました。

## 〈教科等研修〉

### ◆英語教育推進研修

文部科学省は、平成26年度から各学校段階における「英語教育推進リーダー」を養成するための中央研修を始めました。本研修は、中央研修に参加した教員を研修講師として、県内の英語教育に携わる教員の英語指導力向上をめざして実施しています。

平成27年度は、小学校の代表の教員124名、中学校の英語教員80名、高等学校の英語教員70名が受講しました。文部科学省のプログラムに基づき、これからの英語教育の充実に向けて、大切な8項目について研修しました。（＊詳細は各校に配布されたDVDでも確認できます。）

#### ●●●受講者の声●●●

- ・外国語活動へのやる気が出た。いろいろなポイントを学べた。（小学校）
- ・活動が多くて、実際にクラスで使える内容で良かった。（小学校）
- ・英語での話し合いはとても大変だったが、良い刺激になった。（中学校）
- ・生徒に英語を使う機会をもっと与えようと思う。（中学校）



- ・英文法指導において、教師がひたすら文法説明をするのではなく、生徒が実際に構文を使い、自分の考えを書き出すことが大切だと思った。（高等学校）

#### 〈情報教育研修〉

##### ◆タブレット PC（情報端末）の効果的な活用【ICT 基準 B・C 対応】

8月17日（月）県総合教育センターにおいて、関西大学初等部 山中 昭岳教諭を講師に迎え、情報教育研修講座「タブレット PC（情報端末）の効果的な活用」を実施しました。

タブレット PC を活用したメディア学習を通じて、情報の収集・取捨選択・まとめ・表現・発表までの一連の流れを自ら体験し、授業における効果的なタブレット PC の活用について研修しました。

また、県内教職員のタブレット PC を活用した実践報告や模擬授業も行われました。

##### ●●●受講者の声●●●

- ・iMovie を使ったのムービー作成や iPad を使ったの授業、これからの学級経営でもどんどん使っていきたい。
- ・まだ個人でタブレットを持っていないが、担当している支援学級の子どもたちは、理科の観察記録やスピーチ練習など自分を客観視することが苦手なので、その部分に活用していきたい。
- ・積極的に実践されている魅力的な講師ばかりでした。三重でも良い実践が進められていて心強く思いました。

#### 〈教育相談研修〉

##### ◆教育相談事例研究講座

6月、8月、10月に教育相談事例研究講座を実施しました。この講座は、受講者同士が子どもや保護者へのかかわり方や各学校の教育相談体制を学び合うものとして、今年度から新しく始めたものです。

##### ●●●受講者の声●●●

- ・事例をまとめると、その子の成長が分かる。さらに、事例を検討することにより、客観的に見たり考えたりでき、支援の方向性を共有することができたので、その後の支援にゆとりがでてきた。
- ・関係機関との連携の仕方について話を聞くことができた。今後の支援に活かせると思った。
- ・事例検討でのコメントや意見を参考にして、保護者とともに支援のあり方を考えたり、医療機関への情報提供を行ったりすることができた。
- ・教育相談の取組は各校様々であると思った。講座で学んだ他校の取組をふまえて、自分の学校に合ったものを作りあげていきたい。

来年度もこのような学校の教育相談体制の中心を担う教員を対象とする講座を開設する予定です。子どもの育ちを見守っていくときの教員同士の役割分担や、家庭、地域、医療、福祉等との連携のあり方を学び合うチャンスです。みなさまの参加をお待ちしております。

## 次年度に向けて



### ①「授業研究担当者育成研修」にかかる重点推進校の募集

子どもたちの学力の定着・向上を図るため、授業研究を中心とした校内研修の活性化に向けた支援を行うことにより、教員一人ひとりの授業力を高め、授業改善につなげることを目的とし、平成23年度から「授業研究担当者育成研修」を実施しています。

本研修では、重点推進校を指定し、教員の授業力向上を目指した授業研究における校内研修担当者の校内研修の企画・運営等を、年間をとおして研修企画・支援課が継続的に支援します。

4月初旬に、重点推進校を募集します。

授業改善につながる校内研修の活性化に向け、悩んだり、一層の推進を考えたりしてみえる学校がありましたら、ぜひご検討ください。

#### <今年度の研修概要>

(1) 集合研修（県総合教育センター）

第1回 平成27年5月18日

第2回 平成27年7月27日

第3回 平成27年12月25日

(2) 研究協力校研修（津市立北立誠小学校）

平成27年11月11日

(3) 実践交流会（県総合教育センター）

平成28年2月15日

(4) 各校で実践

年間をとおして研修企画・支援課が

継続的な直接支援



#### ●●● 受講者の声 ●●●

- ・他校の取組がわかる機会がなかなかないので、とても参考になります。また、中・長期の計画を考えることで、今、何をすべきかがよくわかりました。
- ・この研修をとおして進めてきた校内研修アクションプランの発案修正の過程における学びがとても充実したものでした。来年度版も作成し、全教職員で共有することで、見通しと継続性のある研修を推進していきたいと思えます。

### ②「学校改善活動ファシリテーター養成研修」受講者の募集

管理職とともに目指す学校像実現に向けた改善活動を先導し、よりよい学校・学級づくりを推進する中核的な人材（学校改善活動ファシリテーター）を養成することにより、すべての公立学校の自立的な改善活動を促進することを目的とし、平成23年度から「ファシリテーター養成研修」を実施しています。

本研修で目指すファシリテーター像は次のとおりです。

- ・学校の現状を把握し、課題解決に向けた具体的方策を提案できる。
- ・対話の場づくりの中心となり、他者の気づきを引き出すことができる。
- ・他者と協働して改善活動に取り組むことができる。

4月初旬に、受講者を募集します。ぜひご検討ください。



## 【出前研修のご案内】 いつでもご相談ください！

### ① 活用力を育む小学校国語・小学校算数の問題づくりをととした授業改善について

活用力を育む授業づくりについて悩んでいませんか？

子どもたちに身に付けさせるべき力を明らかにしながら、活用力を育むことのできる問題づくりの手法を学び、問題作成を通じて、授業改善につなげます。

### ② 授業改善に向けた校内研修の推進について

校内研修の企画や運営について悩んでいませんか？

事前・事後検討会の進め方、ワークショップの手法など、効果的な校内研修の実施に向け、私たち研修企画・支援課が出前研修にうかがいます。

### ③ 「よいよい学校づくり」に向けた学校改善活動(学校マネジメント)について

学校の改善活動がなかなかうまく進まないということはありませんか？

目指す学校像の実現に向け、改善取組を全職員で作り出せるよう、講義だけでなく、体験や演習など、実践に即した研修を行います。

【問い合わせ先】 三重県教育委員会事務局 研修企画・支援課 企画・支援班

TEL : 059 (226) 3428 MAIL : kenshien@pref.mie.jp



このメール通信は、教職員研修に関する様々な情報を定期的にお届けするために発行しています。「こんなコンテンツを載せて欲しい」「こんな研修を受けたい」などのご意見・ご要望等ございましたら、研修企画・支援課までお寄せください。

三重県総合教育センター メール通信 平成27年度 第5号

発行元 三重県教育委員会事務局 研修企画・支援課 企画・支援班

電話 : 059-226-3731 FAX : 059-226-3706 E-mail : kenshien@pref.mie.jp

三重県総合教育センター Web ページ <http://www.mpec.jp/>



みえの学力向上県民運動